

成績評価について

- ・授業科目ごとに出欠席をとり、15分以上を1時間、60分以上を2時間の欠課とする。臨地実習の科目は15分以上を1時間の欠課とする。

(単位認定)

- ・単位認定は、学科試験（演習・学内実習を含む）と臨地実習の成績による。ただし、出席状況・平素の学習状況を考慮することができる。
- ・臨地実習を除く科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の3分の2に満たない場合は、受験資格を失うものとする。
- ・臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たない場合は、実習の評価を受ける資格を失うものとする。
- ・病気その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかつた者については、追試験を受けることができる。
- ・授業科目及び臨地実習の評価において、合格できなかつた者は、再試験ならびに再実習を受けることができる。
- ・教育課程における授業科目（臨地実習を含む）において、次の学年の学修に支障を与える科目を履修できなかつた者及び必要な単位数を修得できなかつた者は、必要に応じて原学年に必要な授業科目を再履修しなければならない。

(受験資格)

次の各号のいずれかに該当するときは、試験を受けることができない。ただし、校長が特に許可した場合はこの限りではない。

- ・臨地実習を除く科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の3分の2に満たないとき
- ・臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たないとき

(授業科目の成績評価)

成績評価は点数で行うが、成績通知は評点又は、A・B・C・Dで表記する。

- ・成績評価は、次の基準によるものとする。
 - (1) A (100～80点)
 - (2) B (79～70点)
 - (3) C (69～60点)
 - (4) D (60点未満)
- ・C評価以上を合格とし、D評価を不合格とする。
- ・受験中に不正行為を行った者は、その当該科目を不合格とする。

(追試験)

病気、その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかつた者に対して、追試験を行うことができる。

- ・追試験の成績評価は得点の8割とする。

(再試験)

- ・学科試験で合格点に満たない者（追試験で合格点に満たない者を含む）に対して再試験を行うことができる。
- ・再試験の評価は原則として点数評価を行い、合格した場合は60点とする。

(臨地実習の成績評価)

- ・臨地実習の評価は、実習評価表に基づいて行い、成績通知は評点又は、A・B・C・Dで表記する。
- ・成績評価は、次の基準によるものとする。
 - (1) A (100～80点)
 - (2) B (79～70点)

(3) C (69～60点)

(4) D (60点未満)

- ・ C評価以上を合格とし、D評価を不合格とする。

(再実習)

- ・ 当該実習の評価が不合格、もしくは臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たない場合は、所定の手続を経て再実習を行うことができる。
- ・ 再実習の評価は原則として点数評価を行い、合格した場合は60点とする。

添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」

○平成30年度

大川看護福祉専門学校

客観的な算出法				
履修全科目の点数での成績を合計し、合計点の平均を算出する (100点満点で点数化)				
学科名	看護学科	1学年	学生数	44
成績の分布				
指数の数値	D 59点以下	C 60～69点	B 70～79点	A 80～100点
人数	0	5	34	5
下位1/4 に該当する人数 11名 下位1/4 に該当する指数の数値 71点以下				

客観的な算出法				
履修全科目の点数での成績を合計し、合計点の平均を算出する (100点満点で点数化)				
学科名	介護福祉学科	1学年	学生数	9
成績の分布				
指数の数値	D 59点以下	C 60～69点	B 70～79点	A 80～100点
人数	0	0	6	3
下位1/4 に該当する人数 2名 下位1/4 に該当する指数の数値 76点以下				